

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	出野 翔平	学校名	大阪市立南大江小学校
実施学年	第三学年	教 科	道徳科
単元名	メールやチャットをするときに大切なこと		

《学びを深めたいポイント》

小学生がスマートフォンを所有している数が年々増加傾向にある。また、メールや SNS、チャット等のコミュニケーションツールの利用も現在増加している。さらに、インターネット接続できるゲーム機やタブレット型端末を所有している数を含めるとかなりの割合の児童がメールや SNS 等を利用していると考えられる。

それにつれて、メールやメッセージのやりとりによるトラブルも増加している。悪意は無くても、伝えたいことが相手にうまく伝わらず、誤解を生んだりトラブルに発展したりする例が多く見られる。この学習では、トラブルにならないようなメール等の書き方や、傷つくような内容のメールが来た場合の対処について場面に応じて児童と考え学ぶようにする。

《SKYMENU 活用のポイント》

気づきメモを使用して、指導者の前でコミュニケーション取り組んだ。実際に、気づきメモの良さであるリアルタイムのチャットを通じた会話は、児童には大変盛り上がった。学びに深めたいポイントにも書いたが悪意は無くても、伝えたいことが相手にうまく伝わらず、誤解を生んだりトラブルに発展したりする事例があった。この経験は非常に有効であった。

日頃の学習から発表ノートを活用して、一日の振り返りや課題に対しての考えを書き込んだりしている活動に取り組んでいる。

本時では、自分の考えを発表ノートに書き、全体交流を進めていった。また、書いた文章は、一覧でスクリーンに映し出されるようにして、児童の書いたノートが共有できるのが強みだと感じた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	●前時の学習で気づきメモを体験して思ったことを発表する。 ●気づきメモから言葉を抜き出し AIテキストマイニングに取り入れた画像をスクリーンに映し出し本時の学習課題について考える。		・話題を決めて話し合いに取り組んだ。 ・便利だった経験や困った経験について発表させる。 ・体験したことをもとに、本時の学習課題について考えさせる。

	●本時の学習課題をつかむ。 学習課題：メールやチャットをするときに気を付けることについて考えよう。		
展開	●ネット社会の歩き方内の「傷つくようなメールが来たら」を視聴する。 ●動画を見て自分がチヒロさんだったら「いいよ」というメッセージをどのように感じるか考えて発表ノートに書く。 ●ショックを受けたチヒロさんにどのようなアドバイスをすればよいか考える。 ●トラブルにならないために、どのようなことに気をつければよいかを考える。 このような勘違いを起こさないようにするためにメールやチャットをするときに気を付けることについて考える。	自分がチヒロさんだったら「いいよ」はどのように感じますか？ いないといわれていると思ってる ↓ 私のことが嫌いと思う。 私なんか嫌われ者だとか悲しい思いになる。 ・自分も同じようにショックを受ける。 ・「気にしなくてもいいよ」という意味で受け取る。 ・全然気にしない。 ショックを受けたチヒロさんにどのようなアドバイスをすればよいですか。 「いいよ」という理由がどうゆうことで「いいよ」と言っているのかを友達に聞く ちひろさんが嫌で言っているわけでもないから。 悲しくなる前に理由をきく。 ・気にしないようにする。 ・本人に確かめる。 トラブルにならないために、どんなことに気をつければよいでしょうか。 何で「いいよ」なのか理由をくわしく説明してだからいないよと理由をかく。 れい ありがたいけど、おみやげは、いないよー！ごめんねー😊 ・誰かに相談する。 ・勘違いが起きないように分かりやすいメッセージにする。 ・絵文字などを使って気持ちが伝わるようにする。 ・誰かに相談する。	・1分54秒まで見せる。 ・チヒロさんの立場になって考えて、発表ノートに書かせる。 ・ペアで話し合った後、スクリーンに発表ノートを投影して全体交流をする。 ・発表ノートに書かせる。 ・自分がチヒロさんだったらまたはチヒロさんの友だちという視点で考え、発表ノートに書かせる。 ・ペアで話し合った後、スクリーンに発表ノートを投影して全体交流をする。 ・発表ノートに書かせる。 ・相手がどの様に受け取るのか想像するように助言する。 ・ペアで話し合った後、スクリーンに発表ノートを投影して全体交流をする。

まとめ	●本時の学習内容の振り返りを発表ノートにまとめる。	ふりかえり これからもあいてに、どんな気持ちで言っているのかわかるように絵文字などかいて、くわしくする。 ・直接相手に伝えられるときには、メールやチャットは使わない。	・ペアで話し合った後、スクリーンに発表ノートを投影して全体交流をする。
-----	---------------------------	--	--

《実践を振り返って》

気づきメモを使用して、話題を自由に話し合った経験は、メールやチャット経験のない児童にとって非常に有効であった。この経験があったからこそ、メールやチャットをするときに気をつけることについて深く考えることができた。 また、児童がコミュニケーションしたことを、指導者は確認をすることができたことで、AI テキストマイニングを使用して、良く使われている言葉に着目させることができたことで、文章だと相手に伝わりにくかったり誤解を招くことがあることに気づくことができ授業を進めることができた。 スマートフォンを所持する前に、学校で、メールやチャットの使い方について学ぶ機会を設けることは、学校現場としても早期的に計画をたてていかなければならないと感じた。
--



メールやチャットをするときに気をつけることについて考えよう。

◎「いいよ」をどのように感じたのか

- ・ショックに思う
- ・「気にしなくてもいいよ」という意味で受け取る。

◎チヒロさんはこれからどうしたらよいか

- ・気にしないようにする。
- ・本人に確かめる。
- ・誰かに相談する。

◎勘違いを起こさないようにするために気を付けること

- ・勘違いが起きないように分かりやすいメッセージにする。
- ・絵文字などを使って気持ちが伝わるようにする。
- ・直接相手に伝えられるときには、メールやチャットは使わない。

プロジェクタースクリーン

めあて メールやチャットをするときに気をつけることについて考えよう。

「いいよ」はどのように感じたのか。

- おこっていると思う。文字だけ
- 上から目せん
- ありがとう。うれしい。
- もうしわけない
- 文字だけではわからない。

これからどうしたらよいか。

- 買ってあげる
- 理由を聞く
- おこっていないよ
- 買わない
- どう意味なのか考える。
- 聞きなます。

かんちがいを起こさない
ために気をつけること

- よく書く。
- 絵文字を使う(スタンプ)
- 理由を言う
- わからないとあい手に
理由を聞く
- 聞きなます。

直せつ話せるなら
直せつ話す。